



初春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願ひいたします。

さて、今年「子」の年です。「子」年は、「こと」を始めるのにいい年だそうです。新学習指導要領が実施される年であり、オリンピック・パラリンピックもあります。本年も南郷小学校が、飛躍するようがんばりたいと思います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

【マグロン集会：12/11・水】

このマグロン集会は、南郷小学校の伝統になっています。よい行いをした児童を表彰する集会です。よい行いをした人は、子どもたちが選びます。困っている人を助けたり、落ちているゴミを拾ったりとよい行いをしてくれる子どもたちは立派です。このようなよい行いをする子どもたちが増えて、南郷小学校が思いやりにあふれた学校になればと思います。表彰された皆さん、おめでとうございます。



【マグロン集会の様子】

【持久走大会：12/12・木】

11月から持久走の練習に取り組んできました。持久走大会は、その成果を発揮する場です。苦手な子どもたちも最後まで走り抜くことができました。入賞した皆さん、おめでとうございます。入賞しなかった皆さんも最後まで諦めずに走り抜くことができました。諦めない心や最後まで走り抜く粘り強さなど身に付けたことと思います。皆さん、よく頑張りました。



【高学年男子の様子】

【避難訓練：12/19・木】

冬場は、火気を扱う機会が増えるので、火災の避難訓練を行っています。今回は、職員室を火元として、運動場に避難しました。10分以内に避難することができました。自分の命は、自分で守ることが基本ですが、いかなる時でも慌てず、状況を判断して、安全に避難することが大切です。先生の指示に従って、全員がしっかり避難できました。



【避難訓練の様子】

【2学期終業式：12/24・火】

2学期の終業式を元気に迎えることができました。大きな事故やケガ等がなく、この日を迎えることができたことを大変うれしく思います。これも、保護者の皆様のご指導のお陰と感謝致します。子どもたちは、大きく成長しました。この2学期の勢いで3学期もがんばってほしいと思います。



【2学期終業式の様子】

【3学期始業式：1/6・月】

いよいよ3学期が始まりました。子どもたちには2つお願いしました。1つめは、先生の話をしっかり聞きましょう、2つめは、廊下を静かに歩きましょう、です。6年生は、卒業の学期となります。登校する日は、52日と短いです。1日1日をしっかりと過ごしてほしいと思います。



【3学期始業式の様子】

1月の主な行事

6日(木)	3学期始業式
9日(木)	校内一斉書き初め
10日(金)	PTA役員会・運営委員会
16日(木)	参観日

22日(水)	給食感謝集会
28日(火)	1年生幼保交流会
31日(金)	新入児保護者説明会



歳時記

家庭との連携

「家庭と学校の連携」の必要性は、学制が始まった明治から言われていることです。PTAの組織ができたのもその一連の流れと言えます。さて、「家庭と学校の連携」がなぜ必要で、どんなことをすればいいのでしょうか？

【なぜ必要なのか？】

- 学校の教育方針や教育活動等の理解と協力
- 広い視野での子育て
- 保護者間の縦・横のつながり
- 安全な登下校や家庭での生活習慣
- 子どもの特徴や発達等についての理解（児童理解）
- 教育の公共性・透明性の確保

【具体的な連携とは？】

- 担任と保護者が連絡を取り合う。（児童に関する情報共有）
- 学校での教育を家庭で共有する。（教育の一貫性）
- 教育環境の整備（学校環境整備、見守り活動等安全対策）
- 意見交換（PTA総会・各部会、学級懇談会）

これらの中で、特に意識していただきたいことが、「児童に関する情報共有」です。学校からご家庭に連絡する方法として、①連絡帳、②電話があります。救急なことや重大なことは、「電話」で連絡します。学校からの電話は、「何事かな？」と不安に思うものが多いのではないのでしょうか。いいことや嬉しいことは、連絡帳やお手紙でお知らせすることが多いと思います。先生方には、「いいこと、嬉しいこと」を保護者の方にお知らせしてほしいとお願いしています。学校で先生に誉められ、更にお父さん、お母さんに誉められたら嬉しいことこの上ないと思います。お子さんは、また明日もがんばろう、という気持ちになります。「家庭と学校の連携」の1番は、お子さんにとっていいことや嬉しいことを学校と家庭が共有することだと思います。ご家庭でいいことや嬉しいことがあったら、担任の先生に教えていただきたいと思います。先生から、「よかったね。」と言われるとお子さんは、大変喜びます。次もがんばろうと意欲をもちます。この積み重ねが、お子さんの成長を推進します。学校でも家庭でも誉められるという二重の喜びを味わわせることが、「家庭と学校の連携」の最たる効果だと思います。学校で指導され、家庭でも指導されるとおもしろくなくなります。そういうこともあるでしょうが、学校でも家庭でも誉められる経験が多い方が、子どもは明るく、楽しく生活することができるでしょう。このような視点で、担任の先生との連携について見直していただきますとありがたいです。